**Microchaos ユーザーマニュアル**

**ようこそ、思考の宇宙へ**

この度は、GrowthTechが開発したオフラインAIデスクトップアプリケーション\*\*「Microchaos」\*\*をご利用いただき、誠にありがとうございます。

Microchaosは、あなたのコンピュータ上で直接動作する、パワフルなAIアシスタントです。クラウドにデータを送信することなく、文章作成、アイデア出し、プログラミング、ドキュメント分析など、多岐にわたる知的作業を安全かつ高速に実行します。

このマニュアルは、Microchaosがあなたの「第二の脳」となり、創造性を最大限に引き出すための羅針盤です。各機能の深淵を探り、あなただけの最適なワークフローを構築するための知識がここにあります。さあ、一緒に思考の宇宙を探検しましょう。

**第1章：はじめに**

**1.1 Microchaosとは？**

Microchaosは、ローカル環境で完結するAIデスクトップアプリケーションです。最大の特徴は、**すべての処理があなたのPC内で完結する**こと。インターネット接続は、アプリケーションの初回ダウンロードと、後述するAIモデルのダウンロード時にしか必要ありません。

**▼ 主な利点**

* **絶対的なプライバシーとセキュリティ**: あなたのデータ、プロンプト、生成された文章が外部のサーバーに送信されることは一切ありません。機密情報や個人情報、開発中のソースコードなども安心して扱うことができます。
* **完全なオフライン動作**: 一度セットアップすれば、飛行機の中や外出先など、インターネット環境がない場所でもすべてのAI機能を利用できます。インスピレーションが湧いたその瞬間に、場所を選ばず思考を深めることができます。
* **無限のカスタマイズ性**: あなたの用途に合わせて、複数のAIモデルを自由に切り替えたり、専用の指示（カスタム指示）を作成したりすることが可能です。Microchaosはあなたの使い方に合わせて進化する道具です。
* **コストからの解放**: 一度購入すれば、API利用料のような従量課金は一切発生しません。どれだけAIと対話し、文章を生成しても、追加の費用はかかりません。

**1.2 Microchaosの哲学：透明な道具としてのAI**

私たちは、AIを謎めいた「ブラックボックス」ではなく、ユーザーがその仕組みを理解し、意のままに操れる「透明な道具」として提供したいと考えています。Microchaosは、あなたがAIの挙動をコントロールし、作業プロセスを完全に所有するためのプラットフォームです。AIの応答に疑問を感じた時、その理由を探り、パラメータを調整し、より良い結果へと導く。そのプロセス自体が、あなたのAIリテラシーを向上させます。

**1.3 システム要件**

Microchaosの性能は、お使いのPCのスペック、特にグラフィックボード（GPU）のVRAM（ビデオメモリ）に大きく依存します。快適な利用のために、ご自身の環境をご確認ください。

* **OS**: Windows 11 (64bit, ver. 22H2以降) / macOS 13.0 Sonoma以降 (Apple Silicon推奨)
* **CPU**: 4コア以上（8コア以上を推奨）
* **RAM**: 16GB以上（32GB以上を推奨）
* **GPU VRAM**:
  + **最低要件（軽量モデル）**: 8GB以上 (NVIDIA RTX 3060 / Apple M1 Proなど)
  + **推奨要件（中規模モデル）**: 16GB以上 (NVIDIA RTX 4070 / Apple M2 Maxなど)
  + **高性能要件（大規模モデル）**: 24GB以上 (NVIDIA RTX 4090など)
* **ストレージ**: 50GB以上の空き容量（AIモデルの保存領域として）

**第2章：インストールと初期設定**

**2.1 インストール手順**

1. GrowthTech公式サイトからMicrochaosのインストーラーをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルを実行し、画面の指示に従ってインストールを完了してください。

**2.2 AIモデルの管理：アシスタントの頭脳を選ぶ**

Microchaosは「アプリケーション本体」と「AIモデル（LLM）」が分離しています。利用するには、まずAIの頭脳となるモデルをダウンロードする必要があります。

1. Microchaosを初めて起動すると、\*\*「モデル管理」\*\*画面が表示されます。
2. 推奨モデルのリストが表示されます。モデル名の横にある「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。
   * **Standard Model (Helios-7B)**: 速度と性能のバランスが取れた標準モデルです。ほとんどのタスクを快適にこなします。（推奨：VRAM 12GB以上）
   * **Lite Model (Aether-3B)**: 動作が非常に高速な軽量モデルです。単純なテキスト生成や要約に適しています。（VRAM 8GB以上）
   * **Pro Model (Chronos-13B)**: より高度で正確な応答が可能な高性能モデルです。専門的な分析やコーディングに適しています。（VRAM 16GB以上）
   * **Vision Model (Iris-8B-Vision)**: 画像認識能力を持つマルチモーダルモデルです。後述する画像分析機能で利用します。（VRAM 12GB以上）
3. ダウンロードが完了すると、モデルが自動的にインポートされ、利用可能になります。
4. [デフォルトモデルとして設定] を選択し、[完了] ボタンを押してください。

**💡 Tip:** モデルは複数ダウンロード可能です。後からメイン画面のステータスバーでいつでも切り替えられます。タスクの複雑さに応じてモデルを使い分けることで、PCのリソースを効率的に活用できます。

**第3章：主要機能ガイド**

**3.1 Canvas Chat (キャンバス・チャット)**

最も基本的かつ強力な機能です。AIと自由に対話し、質問、壁打ち、アイデア出しなど、あらゆる用途に利用できます。

* **操作方法**: 画面下部の入力ボックスにテキストを入力し、Enterキーを押すだけです。
* **会話の保存**: 各チャットセッションは自動で保存され、左側のサイドバーからいつでも再開できます。
* **エクスポート**: [ファイル] > [エクスポート] から、会話の履歴をテキストファイルやMarkdown形式で書き出すことができます。

**3.2 Document Insight (ドキュメント分析) 📄**

お手持ちのドキュメントを読み込ませ、その内容についてAIと対話する機能です。社内マニュアルの検索や、論文の要約などに絶大な効果を発揮します。

1. 画面上部の [ドキュメントを読み込む] ボタンをクリックし、対象のファイル（PDF, DOCX, TXT, Markdown形式に対応）を選択します。
2. Microchaosがファイルの内容を解析し、ローカルにインデックスを作成します（この処理は初回のみです）。
3. インデックス作成後、キャンバス・チャットでドキュメントの内容に関する質問を投げかけることができます。

**▼ 活用例**

ユーザー: (決算報告書.pdfを読み込ませた後) この報告書で言及されている、第3四半期の主な成長要因は何ですか？

AI: 第3四半期の主な成長要因として、報告書では主力製品「Growth Suite」の新規契約数が前年同期比で25%増加したこと、およびクロスセル戦略が成功したことが挙げられています。

**💡 Tip:** [設定] > [Document Insight] から、チャンクサイズやオーバーラップを調整することで、検索精度をさらに高めることができます。専門的な長文ドキュメントの場合は、チャンクサイズを少し大きめに設定すると文脈の理解度が向上することがあります。

**3.3 Creative Studio (クリエイティブ・スタジオ) 🎨**

ブログ記事の執筆、メールの文面作成、プレゼンテーションの構成案など、特定の目的を持った文章生成をサポートします。

1. ツールボックスから [Creative Studio] を選択します。
2. [ブログ記事作成] [メール作成] などのテンプレートを選択します。
3. 必要な項目（タイトル、読者層、伝えたい要点など）を入力し、[生成] ボタンを押すと、AIが洗練された文章の初稿を作成します。

**3.4 Code Assistant (コード・アシスタント) 💻**

プログラミング作業を強力に支援します。ソースコードの生成、デバッグ、解説、リファクタリングなど、多岐にわたるタスクをオフラインで安全に行えます。

* **コード生成**: Pythonで、今日の 날付を取得する関数を書いて のような自然言語での指示に対応します。
* **バグ修正**: エラーが出ているコードを貼り付け、このコードのバグを修正して と指示するだけで、修正案を提示します。
* **コード解説**: 理解が難しいコードを貼り付け、この処理内容をステップバイステップで解説して と指示すれば、平易な言葉で説明を生成します。

**3.5 Vision Lab (ビジョン・ラボ) 👁️**

**Iris-8B-Visionモデル**（または互換性のあるVisionモデル）が有効な場合、画像を読み込んで内容を分析させることができます。

1. チャット入力ボックスのクリップアイコンをクリックし、画像ファイル（JPG, PNG）を選択します。
2. 画像と共にプロンプトを入力します。

**▼ 活用例**

ユーザー: (ウェブサイトのスクリーンショットを添付して) このUIデザインの良い点と改善点をリストアップしてください。

AI: はい、このUIデザインについて分析します。良い点として、クリーンなレイアウトと視認性の高いフォントが挙げられます。一方、改善点としては、CTAボタンの色が背景に近く、目立ちにくい可能性があります。

**第4章：高度なカスタマイズ**

**4.1 カスタム指示**

特定のタスクを繰り返し行う場合、毎回同じ指示（ペルソナや制約条件）を入力するのは非効率です。\*\*「カスタム指示」\*\*機能を使えば、あなた専用の指示セットを保存し、いつでも呼び出すことができます。

1. [設定] > [カスタム指示] を開きます。
2. [新規作成] をクリックし、指示のタイトル（例：親切なカスタマーサポート）と、システムプロンプトの内容を記述します。
3. キャンバス・チャット画面のツールバーから、保存したカスタム指示を選択すると、そのセッション中、AIが常にその指示に従うようになります。

**4.2 モデルパラメータの調整**

上級者向けに、AIの応答の「性格」を微調整するパラメータを用意しています。

* **Temperature (温度)**: 値が高いほど（例: 1.0）、AIの応答が創造的で多様になります。低いほど（例: 0.2）、より決定的で事実に基づいた応答になります。通常は0.7が推奨されます。
* **Top-P**: 応答のランダム性を制御するもう一つの方法です。Temperatureとどちらか一方を調整することをお勧めします。

**4.3 プラグインマーケットプレイス**

Microchaosの機能をさらに拡張するための**プラグイン**を追加できます。[設定] > [プラグイン]からマーケットプレイスにアクセスし、必要なプラグインをインストールしてください。

* **カレンダー連携**: ローカルのカレンダーアプリと連携し、予定の確認や登録をAIに依頼できます。
* **多言語翻訳**: DeepLなどの外部エンジン（APIキーが別途必要）と連携し、より高精度な翻訳を実現します。
* **データ可視化**: CSVデータを読み込ませ、簡単なグラフやチャートを生成する機能を追加します。

**第5章：Synapse - 思考の自動化**

**Synapse**は、Microchaosの真価を発揮させるための、グラフィカルなワークフロービルダーです。複数のAI機能をノードとして繋ぎ合わせ、定型的な知的作業を自動化するカスタムツールを作成できます。

**5.1 Synapseの基本概念**

* **ノード**: 一つの機能を持つブロックです。（例：テキスト入力, LLM, ドキュメント検索, ファイル出力）
* **接続**: ノードとノードを繋ぐ線です。前のノードの出力が、次のノードの入力になります。

**5.2 実践：議事録要約ツールの作成**

1. [Synapse] タブを開き、[新規ワークフロー] を作成します。
2. テキスト入力ノードを配置し、議事録の全文という名前をつけます。
3. LLMノードを追加し、テキスト入力ノードの出力を接続します。プロンプトには以下のように記述します。

以下の議事録から、決定事項、TODOリスト、主要な議論のポイントを抽出し、Markdown形式で要約してください。

1. ファイル出力ノードを追加し、LLMノードの出力を接続します。出力ファイル名を設定します（例: summary.md）。
2. ワークフローを保存し、実行ボタンを押します。議事録のテキストをペーストするだけで、整形された要約ファイルが自動で生成されます。

**第6章：セキュリティとプライバシー**

Microchaosは、あなたのプライバシーを最優先に設計されています。

* **データ非送信**: あなたが入力したプロンプト、読み込んだドキュメント、AIが生成した応答は、いかなる形でもGrowthTech社のサーバーや第三者に送信されることはありません。
* **ローカルインデックス**: Document Insight機能で作成されるインデックスも、すべてあなたのPC内の安全な領域に保存されます。

**第7章：トラブルシューティング & FAQ**

* **Q: モデルの読み込みが遅いです。**
  + **A:** 大規模なAIモデルは、読み込みに数十秒から数分かかる場合があります。これは正常な動作です。PCのVRAMが推奨要件を満たしているかご確認ください。
* **Q: AIの応答が不正確、または的外れです。**
  + **A:** より高性能なAIモデル（例: Pro Model）に切り替えるか、プロンプトをより具体的で明確なものに修正してみてください。ドキュメント分析の場合は、対象の文書に回答の根拠となる情報が含まれているかご確認ください。
* **Q: アプリケーションの動作が重いです。**
  + **A:** 画面下部のステータスバーから [モデルをアンロード] を選択すると、GPUメモリが解放され、PCの全体的なパフォーマンスが改善されます。再度AI機能を使用する際に、モデルが自動的にリロードされます。
* **Q: 新しいAIモデルを追加するには？**
  + **A:** [設定] > [モデル管理] から、いつでも新しいモデルをダウンロード、または外部からインポート（\*.gguf形式に対応）することができます。

**第8章：パワーユーザーガイド**

**8.1 キーボードショートカット**

* Ctrl/Cmd + N: 新しいチャットセッションを開始
* Ctrl/Cmd + S: 現在のチャットをエクスポート
* Ctrl/Cmd + Shift + D: Document Insightでドキュメントを読み込む
* Ctrl/Cmd + K: カスタム指示パネルを開く

**8.2 バックアップと移行**

Microchaosの設定、チャット履歴、カスタム指示はすべてローカルに保存されています。[ファイル] > [設定をエクスポート]から全データを単一のファイルにバックアップできます。新しいPCに移行する際は、このファイルを[設定をインポート]から復元してください。（AIモデル自体は別途移動または再ダウンロードが必要です）

**付録**

**付録A: モデルの量子化について**

モデル管理画面でダウンロードできるモデルは、性能と速度のバランスを取るために「量子化」されています。Q4\_K\_MやQ8\_0といった表記は、その量子化のレベルを示します。一般的に、数値が大きいほど高品質ですが、より多くのVRAMを消費します。

本マニュアルが、あなたのMicrochaos体験をより豊かに、そして生産的にするための一助となれば幸いです。

**GrowthTech社 サポートデスク** **連絡先:** support@growthtech.example.com